

＜日商簿記1級商業簿記ミニテスト14 新株予約権付社債＞ 問題

＜問題＞次の資料により、①～③の仕訳を行いなさい。

新株予約権付社債（転換社債型ではない）を×5年4月1日に下記の条件で発行した。

1. 額面金額 500,000 円、年利 1%、期間 5 年、利払日年 1 回（3 月末）
2. 社債部分の実行利率 3%として償却原価法（利息法）を適用する

同時期に当社が発行した普通社債は発行価額 100 円につき 90.8406 円での割引発行である。

新株予約権付社債を区分する方法は、算定が容易である社債部分の対価を決定し、残額を新株予約権の対価とする方法を採用した。

当期中に新株予約権の 80%が行使され、払込金 400,000 円が振り込まれた。

- ・当期の会計期間は×8年4月1日～9年3月末である。
- ・払込や支払いに使用する預金は普通預金とする。
- ・計算結果に端数が出た場合は、小数点以下1位を四捨五入すること
- ・会社法の規定の最低限度額を資本金とします

①発行時の仕訳

②×9年3月末日の償却額計上の仕訳

③新株予約権行使の仕訳

	科目	金額	科目	金額
①	普通預金	500,000	社債	454,203
			新株予約権	45,797
②	社債利息	9,426	社債	9,426
③	普通預金	400,000	資本金	218,319
	新株予約権	36,638	資本準備金	218,319